

長さ, 重さ, かさの言い表し方

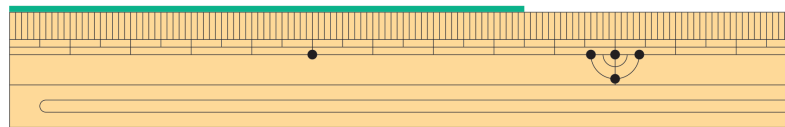
単名数・複名数

長さ, 重さ, かさなどの量の大きさを言い表すには, 2つの方法があります。

例えば, 下の場合の85mmのように, ただ1つの単位を使って表したものを**単名数**といい, 8cm5mmや1L5dLのように, 2つ以上の単位を使って表したものを**複名数**(諸等数)といいます。

3

下の まっすぐな ^{せん}線の 長さは ^{なん}何cm何mmですか。
また, 何mmと いえますか。



線の 長さは 8cm5mmです。

8cm5mmは 85 mmです。

複名数

単名数

単名数は複名数よりも簡単で, 数学的には取り扱いやすく, 小数や分数を使えば, どんな量でも単名数で表されるので, 高学年では単名数が多くなります。

しかし, 上の例の場合, 小数を学習していない2年や3年の児童は, cmやLによる単名数表示はできません。また, 複名数を使うほうが具体性を伴い, 量の大きさをとらえやすくなります。

なお, 複名数を単名数になおしたり, 単名数を複名数になおしたりする単位換算も必要ですが, 基本となる単位関係を, その量感とともに身につけさせておいて, それから判断するようにさせることが大切なことです。





